

法人名	社会福祉法人 博愛福祉会
事業所名	それいゆ定期巡回・随時対応型訪問介護看護今在家

令和4年度

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼでき ている	できて いないこと が多い	全くでき ていない		
I 構造評価 (Structure) [適正な事業運営]									
(1) 理念の明確化									
①	サービスの特徴を踏まえた理念の明確化	1	当該サービスの特徴である「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するため、事業所独自の理念を掲げている		○			【お客様のよろこび】という理念のもと、持続可能な地域作りに貢献できるよう最善を尽くしている。	本人に寄り添った支援をしてくださっている。
(2) 適切な人材の育成									
①	専門技術の向上のための取り組み	2	管理者と職員は、当該サービスの特徴および事業所の理念について、その内容を十分に認識している		○			理念については事業所内に掲示。外部研修への参加等で、スキルアップのための機会を設けている。	随時に臨機応変な対応をしてくださっている。
		3	運営者は、専門技術(アセスメント、随時対応時のオペレーターの判断能力など)の向上のため、職員を育成するための具体的な仕組みの構築や、法人内外の研修を受ける機会等を確保している		○			内部研修の毎月の受講、外部研修への随時参加等の機会を確保している。	スキルアップのための研修が事業所内で実施できていることがすごいと思います。
		4	管理者は、サービス提供時の職員の配置等を検討する際、職員の能力が最大限に発揮され、能力開発が促されるよう配慮している		○			職員の能力やその時の体調、体力等を考慮しながら配置している。	配置されている。
②	介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保	5	介護職・看護職の間で、利用者等の特性・状況に係る相互の理解・認識の共有のための機会が、十分に確保されている		○			共有ノートや情報共有システムを主なツールとして使用し、共有を図っている。	共有ノートやシステムを使っての情報共有が図れていると思う。
(3) 適切な組織体制の構築									
①	組織マネジメントの取り組み	6	利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、最適且つ柔軟な人材配置(業務・シフトの工夫)を行っている		○			できる限り利用者の状況に寄り添えるよう柔軟な対応に努めている。	本人の希望等をできる限り考慮した配置を考えてくださっている。
②	介護・医療連携推進会議で得られた意見等の適切な反映	7	介護・医療連携推進会議を随時適切に開催すると共に、得られた要望、助言等(サービスの過少供給に対する指摘、改善策の提案等)を、サービスの提供等に適切に反映させている		○			コロナが緩和方向に向かい、今年度は滞りなく会議を開催することができた。前回開催時に得られた意見や助言等は、できる限り反映させることができています。	前回開催時の意見等が反映されていた。
(4) 適切な情報提供・共有のための基盤整備									
①	利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備	8	利用者等の状況について、(個人情報管理に配慮した上で)必要に応じて関係者間で迅速に共有できるよう工夫されている		○			共有ノートの設置、関係者のみが閲覧できる情報共有システムで、情報共有を図っている。緊急時等は、電話連絡にて対応している。	利用者の状況を分かりやすくノート等に記してあるので、今の状況を把握しやすい。何か変化があった時には報告や相談、提案もあるため助かっている。
(5) 安全管理の徹底									
①	職員の安全管理	9	サービス提供に係る職員の安全確保や災害時の緊急体制の構築等のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている(交通安全、夜間訪問時の防犯対策、災害時対応等)		○			訪問車両へのNAUTO(ドライブレコーダー)の設置、BCPの作成等を行なっている。	災害時の緊急体制が構築されていると思う。
②	利用者等の個人情報の保護	10	事業所において、利用者等に係る個人情報の適切な取り扱いと保護についての具体的な工夫が講じられているとともに、管理者や職員において共有されている		○			個人情報類は鍵付き書庫にて保管。また、個人情報に関する研修も行なっている。	外部及び第三者に情報が漏洩しない工夫がされている。
II 過程評価 (Process)									

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できてい る	ほぼでき ている	できてい ないこと が多い	全くでき ていない		
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供									
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成									
①	利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からのアセスメントの実施	11	利用者等の一日の生活リズムに着目した、アセスメントが提案されている		○			支援を行なう家族様や各連携機関も含め、包括的な支援が行えるよう提案している。	ENT直後の訪問について、適切な提案に助けていただいた。情報共有の環境が整っており、利用者の生活パターンがお互いに共有できアセスメントが行なえている。
		12	介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施され、両者の共有、つき合わせ等が行われている		○			介護・看護両面からのアセスメントを担当者会議等で共有。日常では、共有ノートや情報共有システムを活用している。	情報共有がなされ、把握ができています。
②	利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	13	利用者の心身機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成が志向されている		○			本人や家族の希望を中心に、できる限り実現に近づけるような計画作成に努めている。	訪問リハビリの提案等、利用者の今の状況に合わせたサービス内容が計画されており、利用者の心身機能の維持回復に重きを置いて計画が作成されている。
		14	重度化しても医療依存度を高め過ぎないように、利用者等の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための、「未来志向型」の計画の作成が志向されている		○			状態悪化(変化)や急変等先を見越した計画作成に努めている。	利用者の状況を正確に判断することができており、必要なサービス内容が計画されている。
(2) 利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画の見直し									
①	計画上のサービス提供日時に限定されない、必要に応じた柔軟な定期巡回・随時対応サービスの提供	15	計画上のサービス提供日時以外であっても、利用者等の状況に変化が生じた場合は、必要に応じて新たに定期巡回・随時対応サービスの提供日時を設定するなど、柔軟な運営に努めている		○			本人や家族の状況に合わせて、その都度柔軟な対応ができるよう努めている。	体調不良時の受診に合わせて訪問時間変更は助かった。利用者の状況や予定に合わせて、その都度訪問の形態や回数を調整してくださっている。
②	継続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映	16	サービス提供を通じた、継続的なモニタリングによる、利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映が行われている		○			毎月のモニタリングに加え、日々の訪問等で把握した状況変化に合わせて計画に適宜反映させている。	毎月報告書にて、利用者の状況を詳細に伝えて頂いている。
(3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供									
①	介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供	17	より効率的・効果的なサービス提供を実現するため、介護職、看護職のそれぞれの専門性を生かした役割分担が行われている		○			介護職から看護職への情報共有、看護職から介護職への助言・注意点等連携が図れている。	介護職・看護職の情報共有が行なえていると感じる。
②	看護職によるサービス提供に関する指導、助言	18	看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導、助言が行われている		○			本人の状況を見ながら、随時指導や助言をいただいている。	ノートを用いて、本人の日々の体調や状況が把握できる。
(4) 利用者等との情報及び意識の共有									
①	利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供	19	サービスの開始前に、利用者等に本サービスが「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている		○			契約時・担当者会議等で、本人及び家族に直接情報提供・説明を行なっている。	説明されている。
②	利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供	20	作成した計画の目標及びその内容について、利用者等に十分な説明を行うなど、共通の認識を得るための努力がされている		○			計画書等を使用し、本人及び家族に直接説明を行なっている。	問題なく行なわれている。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない		
		21	利用者の状況の変化や、それに伴うサービス提供の変化等について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている	○				主に共有ノートで日々の情報共有を図っているが、緊急の場合は随時電話連絡にて報告・相談等行なっている。	急ぎの場合は電話にて迅速に連絡をいただいている。
2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント									
(1) 共同ケアマネジメントの実践									
①	利用者等の状況の変化についての、ケアマネジャーとの適切な情報共有及びケアプランへの積極的な提案	22	ケアマネジャーとの間で、利用者へのサービス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている	○				情報共有システムや共有ノートを使用して情報共有を図っている。急を要する場合は電話連絡し、迅速に対応していただいている。	デイ利用に向けご協力頂き、現在毎日デイ利用ができています。ノートや毎月の報告書等を活用し、利用者の情報共有が実施できています。
		23	計画の目標達成のために、必要に応じて、ケアプランへの積極的な提案(地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等を含む)が行われている		○			配食弁当の提案等を行なうことはある。	訪問リハビリ等各利用者に応じた提案を頂いている。
②	定期的なアセスメント結果や目標の達成状況等に関する、多職種への積極的な情報提供	24	サービス担当者会議等の場を通じて、利用者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている		○			毎月のモニタリングや状況の変化に応じて、担当者会議等の場以外でも情報共有を図っている。	定期的な報告があり、情報提供が実施できている。
(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献									
①	利用者の在宅生活の継続に必要な、利用者等に対する包括的なサポートについての、多職種による検討	25	利用者の在宅生活の継続に必要な、包括的なサポート(保険外サービス、インフォーマルケア等の活用を含む)について、必要に応じて多職種による検討が行われている(※任意評価項目)				○	あまり事例がなく、検討・活用にまで至らない。	本人の状況を考えると、活用するに至らない。
		26	病院・施設への入院・入所、及び病院・施設からの退院・退所の際などに、切れ目のない介護・看護サービスを提供するために、必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている(※任意評価項目)		○			各連携機関と連携・情報共有を図り、切れ目のないサービス提供の提案ができるよう努めている。	ENT直後の生活環境について、一緒に考えていただきました。
②	多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と、必要に応じた関係者等への積極的な提案	27	地域における利用者の在宅生活の継続に必要な、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有がされている(※任意評価項目)				○	家族のサポートが大きい方が多く、地域との連携にまで繋がっていない。	本人があまり外部(地域)との関わりを好まないため連携は図っていない。また、家族の支援も大きい。
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画									
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案									
①	介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信	28	介護・医療連携推進会議の記録について、誰でも見ることのできるような方法での情報発信が、迅速に行われている				○	地域包括や自治会、ケアマネ等に配布はしているが、誰でも見ることができるような方法とは言えない。	会議開催時に配布していた。
		29	当該サービスの概要や効果等についての、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている				○	介護・医療連携推進会議等で資料の配布等行なっているが、積極的な広報周知とは言えない。	資料等いただいた。
(2) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画									
①	行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解	30	行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している		○			外部の研修等学ぶ機会を設けている。	理解されている。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				外部評価 コメント	
				実施状況					コメント
				できてい る	ほぼでき ている	できてい ないこと が多い	全くでき ていない		
②	サービス提供における、地域への展開	31	サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている		○			特定の建物には限定していない。エリア外でも巡回ルートに合わせて訪問ができるよう努めている。	サービスを必要としている人に漏れなく提供すべく、市内事業所間での連携策を検討していると伺い感動しました。
③	安心して暮らせるまちづくりに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等	32	当該サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、介護・看護の観点から、まちづくりに係る問題認識を広い関係者間で共有し、必要に応じて具体的な課題提起、改善策の提案等(保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等)が行われている(※任意評価項目)			○		保険外サービスやインフォーマルサービスの活用等ができていない。	インフォーマルサービスには結び付いていない。
①	サービス導入後の利用者の変化	33	サービスの導入により、利用者ごとの計画目標の達成が図られている		○			各連携機関と連携・情報共有を図り、利用者等が希望する生活にできる限り近づけている。	サービスを受けることで、充実した生活が営めている。
②	在宅生活の継続に対する安心感	34	サービスの導入により、利用者等において、在宅生活の継続に対する安心感が得られている		○			各連携機関や家族等の支援を受け、落ち着いて過ごしていただけである。	サービスを受けることで、一人での生活でも安心して過ごすことができている。